

自身の人生をかけて生涯で何をなすのか！

次の時代を担う“指導者”になるための人物修養法＜入り口編＞

自身に潜んでいる可能性(DNA)を自身で発見する！

ちまたにあるリーダーシップ研修は、何度受講しても真の指導者は、決して生まれません。それは、人としての本質的要素(道徳性)を修養せずに、その付属的要素である会社経営のための知識や技術・技能に終始しているからです。

大学等での経営学やMBAなどの内容は、その付属的要素の習得です。

人としての本質的要素の修養で自身の人格を「見識」、そして「胆識」へと向上させることで、自ずとリーダーに相応しい人物になるものです。

指導者の絶対的要素は、人徳や人望・人格の有無です。

人としての本質的要素の修養に不可欠な“学問”を中心にした“後継者や次世代層の育成”を行っている企業は、無に等しい。

また、人の採用において、人柄(人物性)を重視しながらも、採用後は即戦力化のために、その付属的要素である会社の知識や技術・技能を習得させることは、人材養成であり、人物育成ではありません。

“人物修養法＜入り口編＞”は、単なるセミナーや勉強会ではありません。知識や技術・技能が豊富な後継者や次世代層が、自身の人としての本質的要素の修得不足を痛感しながらも、自身に潜んでいる可能性(DNA)を引き出すための気付きの場です。

そのため、参加に際しては“書籍「運命を創る」<著者：安岡正篤>”(裏面参照)の必読を絶対条件にしております。

確認・検討内容

第1部 自身に潜んでいる可能性を芽生えさせる

- 1.“人”としての本質的要素と付属的要素
2. 明治時代の近代化への根本は、徳川幕府にあり
3. 自身の可能性を計る(国は一人を以って興り…)
4. 立志(志とは/立志の例/項羽と劉邦…)
5. 人物如何(正道/政治と政/大人と小人…)
6. 知識・見識・胆識

第2部 自身が“人物”になるための修養法 ～ 人物育成の概要と修養手順 ～

日時：随時開催していますので、お問合せ願います。

場所：新宿または秋葉原
地方開催もします。

定員：少人数制

費用：資料代2,000円(税込)

主催

企業100年計画株式会社

東京都新宿区西新宿7-2-10

栄立新宿ビル3階

TEL：03-3371-7029

運命を創る（プレジデント社）

大体において、創業者(初代)は総じて顕著なことは、気魄が旺盛である。

この気魄は、人の根本的要素であり、人格の第一次的要素でもある。

気魄から生まれる理想を『志』という。

志は、熱烈な理想をもって事に当たるもので、単なる一時的なものではなく、一貫性、永久性がある。

志からの事に当たる際、様々な問題や障害にぶつかり、心折れたり、くじけたりせずに進むこと、人としてこれくらいを根本になくしてはならない。

人は、様々な経験から知識ができてくる。

単なる知識ではなく、本当の全人格的な人そのものを打ち出すことにならなければいけない。

これを『見識』または『識見』という。

知識のある人ではなく、『見識』のある人にならなければいけない。

事に当たり、様々な矛盾や抵抗に鍛えられ、きびきびした実行力になった時、これを『胆識』という。

経営者は、この『胆識』をもたなければならない。

修養によって知識も見識となり、その人独特の存在が意義づけられてくる。

根本精神から生まれ出る識見、器量、信念、徳望こそが大事なのである。知識云々ではないのである。

真の教養は、偉大な著作に親しむことによって得るもの。

これは専門の知識・技術の書物を調べることは別である。専門の内外を超越した、人としての修養の書であり、自分に響くような書物であれば何でも結構である。

別に学者になる訳でもないのですから、博学多識の必要はない。

何よりも、絶えずこれを心掛けることが自らの人格を高め、そのみならず、知らず知らずのうちに周りにまで影響を与えもするものなのです。

なぜ、偉大な著作なのか。そこに描かれる人物・言行は、やはり敬するに足るほど魅力的なのである。



書籍「運命を創る」より

大事なことは

立志

人物如何

立志：自身の将来の目的を定めて、これを成し遂げようとする事。

人物：どのような事業にあっても、それを成功と失敗に分かつ根本的な要因は、一にも人物、二にも人物、その組織の最高責任者である人物如何によって決まる。

万世に通ずる会社の“根本土台”を創る

企業100年計画 株式会社